○報告事項

教育委員会5月定例会について

○質問項目

- 1 県立学校 児童生徒・教職員用 Microsoft アカウント復旧・運用再開について
- 2 旧県立体育館解体・記録保存事業について

司会)

それでは定刻となりましたので、教育長の定例記者会見を始めさせていただきます。

まず、本日開催いたしました教育委員会5月定例会につきまして、淀谷教育長より報告させていただきます。

教育長)

本日、5月の教育委員会定例会がございました。議案が3件、その他の報告が4項目でございます。

議案第1号は、専決処分事項の承認についてであります。

お手元に資料提供させていただいております。

令和8年度香川県公立学校教員採用選考試験大綱は、香川県の公立学校教員の採用試験の実施に当たり、試験の日程や出願資格等の基本的な事項を定めたものでございます。

今年度実施する令和8年度の採用試験では、受験可能年齢の引き上げを行うこととし、大綱では、これを定めた令和6年度時点の定年年齢である61歳を基準に出願資格を定めておりましたが、令和8年度の定年年齢が62歳であることから、採用時点の定年年齢に合わせる取り扱いとすることとし、私の専決により大綱で定める出願資格について所要の改正を行い、そのことの承認を得たものでございます。

議案第2号は、香川県スポーツ推進審議会委員の任命についてであります。

スポーツ推進審議会は、香川県のスポーツの推進に関し、専門的な立場から調査、審議いただくために設置しております。任期の満了に伴い、委員の任命について教育委員会に諮ったものでございます。

議案第3号は、香川県社会教育委員の委嘱についてであります。

社会教育委員は、香川県の社会教育・生涯学習に関し、専門的な立場から助言をいただくために設置しておりますが、こちらも任期の満了等に伴い、委員の委嘱について教育委員会に諮ったものでございます。

その他事項の1項目めは、令和8年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項についてであります。

今年度実施する令和8年度香川県公立学校教員採用選考試験につきましては、昨年10月の教育委員会定例会で大綱を決定しました。この大綱に基づきまして、(出願方法等に関する)実施要項を定め、その内容について報告したものでございます。

4月28日に資料提供しておりますけれども、令和8年度の採用予定数は、全体では7年度から8名減の307名程度となる見込みでございます。

採用予定数以外の主な変更点が、4点ございます。

一つ目、全種別において、教員免許状を保有していない社会人を対象に、一般選考において、社会人向け採用猶予受験を実施し、合格した場合には、教員免許状取得のため、2年間の採用猶予期間を与えること

二つ目、元教諭等・現教諭等を対象とした「特別選考I②・③」を拡充し、全種別において、国立大学附属学校、私立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭の職も対象とし、第1次選考試験における総合教養を免除すること

三つ目、小学校、中学校、高等学校の種別において、教科に関する専門的知識・技能に優れた人材を対象とした特別選考を追加すること

四つ目、定年延長に伴い、特別選考と一般選考における受験可能年齢について引き上げること、といたしました。

ぜひとも、多くの方々に応募していただきまして、意欲ある教員を確保したいと考えておりますので、報道機関の皆様方には、今後とも採用関係の周知にご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

2項目めは、県立学校 児童生徒・教職員用 Microsoft アカウント復旧・運用再開についてであります。

この件については、お手元に資料提供させていただいております。

4月4日(金)に発生した県立学校の児童生徒・教職員が授業等で使用するタブレット端末等の Microsoft アカウント約 17,000 件が不正に削除された事案についてでございますが、事業者による原因調査及び復旧作業が完了し、運用再開における安全性の確保について見通しが立ちましたので、明日、運用を再開いたします。

不正削除の原因については、専門事業者への委託等による調査の結果、アカウントの新規登録、削除などを行う全体管理者権限のある管理用アカウントのパスワードが、何らかの手段によって窃取され、その管理用アカウントを不正に操作されたことが、不正削除の原因であることが判明いたしました。

この管理用アカウントは、県教育委員会が県立学校 児童生徒・教職員用アカウントの管理・運用のために利用していたものでございます。

なお、パスワードが窃取された手段、これについては特定できませんでした。

不正操作によるアカウント削除の主な経緯は、お配りしている資料のとおりでございます。

本件アカウント不正削除事案では、クラウド上のデータファイルへのアクセスや情報の漏洩などについては確認されませんでした。

運用再開後の再発防止に向けた対策については、外部事業者と契約し、管理用アカウント体制の見直し及び全アカウントを対象とした監視・報告業務を委託し、セキュリティを強化したうえで運用を再開いたします。

学校・保護者への対応としましては、各県立学校へは、本日、この会見の後に、復旧・運用再開について通知したいと思っております。また、各学校から保護者に、復旧・運用再開について一斉メールなどでお知らせしたいと思っております。

なお、追加のご報告になりますが、県立学校の児童生徒・教職員用タブレット端末等の利用のための Microsoft アカウントの不正削除事件があったことを受けまして、香川県教育センターが保有する研修用パソコン利用のための Microsoft アカウントを確認していたところ、管理権限を持つ管理用アカウントが何者かによって不正操作され、新たな管理用アカウントが作成されていたことがわかりました。

この Microsoft アカウントは、Word、Excel などの Office アプリを使用するために利用し、OneDrive 及び Teams 等のクラウドサービスは利用しておりません。

現時点での被害状況については、新たに管理用アカウントが作成されたこと以外に、アカウント削除や情報漏洩等の被害は確認されておりません。

現在、管理用アカウントを改め、全ユーザーアカウントのパスワード変更等の対策を施したうえで、研修用パソコンを利用しているところですので、あわせてご報告いたします。

3項目めは、旧県立体育館解体・記録保存事業についてであります。

この件についても、お手元に資料を提供させていただいております。

旧県立体育館につきましては、建物の劣化状況や地震に対する脆弱性から安全性の確保を図るために、解体の方針を固め、令和7年度当初予算において、解体工事の予算を計上したところであります。

このたび、旧県立体育館解体・記録保存事業について、工事の工法やスケジュール、記録保存の進め方など、一定程度定まりましたので、本日の教育委員会定例会に報告したものでございます。

解体工事を進めていくに当たっての工法・スケジュールにつきましては、まず、工法について、地上から重機を用いて行う地上解体としたいということでございます。スケジュールにつきましては、工事の入札予定時期として、今年度の第2四半期、具体的には、8月頃を予定しております。

また、建築家 丹下健三氏が設計し、多くの建築的特徴を有する旧県立体育館でございますので、その記録を保存していくこととしており、その進め方・内容につきましては、大きくは、工事前、工事中、工事後の3つのステップで時期を捉え、解体工事の進捗に合わせて

行いたいと考えています。

具体的には、記録に残す対象として、形状などの「建物の現況」、建設当時の構造技術などの「技術力」、また、保存の方法として、図面、写真、動画、3次元データなどにより、建物の情報を可能な限り収集したいと思います。あわせて、それらに基づきまして、報告書を作成し、学術的な価値をまとめることといたしております。

旧県立体育館の特徴や価値を長く県民の皆様に残して伝えていくために、専門家の意見も十分にお聞きしながら、効果的な調査・手法により、建物の現況や建築当時の高い技術力を、丁寧に記録していきたいと考えております。

なお、解体工事や記録保存を進めていくに当たりまして、近日配布予定の県広報誌「THEかがわ」6月号にも掲載するなど、広く広報を行いながら、事業を進めていきたいと考えております。

4項目めは、令和8年4月採用の香川県職員（学校事務、司書、文化財専門職員）採用試験についてでございます。

学校事務の募集につきましては、人事委員会事務局から5月7日に県政記者クラブに、司書及び文化財専門職員の募集につきましては、教育委員会総務課から5月7日に教育記者クラブに資料提供しております。

今年度実施する令和7年度香川県職員（学校事務、司書、文化財専門職員）採用試験につきまして、申込方法等に関する試験案内を作成したもので、その内容について教育委員会に報告いたしました。

令和8年度の採用予定数は、学校事務（大学卒業程度）が6名程度、司書が1名程度、文化財専門職員（記念物）が1名程度の見込みでございます。

文化財専門職員（記念物）につきましては、県内所在の名勝・天然記念物・史跡に関する指定・保全・管理などを行っていくうえで、造園美や景観保全、生物学等の専門知識が必要であるため、今年度初めて採用試験を行うものでございます。

この件に関しても、ぜひとも、意欲ある職員を確保したいと考えていますので、（報道機関の）皆様方にも、周知などご協力いただけましたら幸いでございます。

あわせて、最後になりますが、7月26日（土）から開催する第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭2025）の準備状況についてご報告いたします。

お手元の資料のとおり、総合開会式の一般観覧者の募集を本日より開始しております。（報道機関の）皆様方には、周知にご協力いただければと思います。

なお、この募集チラシにつきましては、県内の中学校や高等学校、特別支援学校に配付するとともに、総合文化祭の公式ホームページやSNSにも掲載しております。

以上で私からの報告を終わります。よろしくお願いいたします。

司会)

それではご質問等ございましたらお願いいたします。

記者)

アカウントの件で、まず、教育センターの研修用パソコンについての説明ですが、研修用パソコンがあってそこにログインをする、いわゆるパソコンを立ち上げたときのIDとパスワードを入れて立ち上げて、そこから特権アカウントを作ったということでしょうか。

教育長)

イメージ的には、パスワードを窃取して特権アカウントを操作できるようになりました。その特権アカウントを使って、いろんなことに使ってやろうということで作ったのだと思いますが、もう1つ管理用アカウントを作ったと、そういう状況になったということです。

記者)

盗まれたのはクラウドみたいなところにあった(ということですか)。

教育長)

クラウドではないです。

記者)

クラウドではないんですね。利用者権限のIDとパスワードがあって、そこを管理する管理者のIDとパスワードもあったと。そこを、まず、管理者のIDとパスワードで入りこまれて、そこで新たに別の管理者のIDとパスワードを作ったということですね。

教育長)

はい。やり方は、いわゆる管理権限を乗っ取るという意味においては、県立学校と一緒にです。

記者)

要は、その一番初めの管理者の権限で入るところのIDとパスワードを盗まれたということですか。

教育長)

(管理者権限のIDとパスワードを)盗まれたのだと思います。

記者)

教育センターの研修用パソコンというのは。

教育長)

教育センターも、ネットワークの中の管理用アカウントは県立学校と同じようにあるんですけど、それも同じような手口で盗まれています。いわゆる乗っ取られて不正に操作できるような環境になったということです。それで、不正に操作するために、もう1つ管理用アカウントを作ったんですね。

何が違うかという、県立学校の場合は、ここからクラウドに、OneDriveとかファイルを全部紐づけていた。ところが、研修用パソコンはそれ（ファイルへの紐づけ）がない。管理用パスワードはアプリを立ち上げるためだけのパスワード。そこが全然違うので、安全が確認できたら、その不正に入ってきた管理用アカウントを全部消して、我々が管理できるアカウントによって管理したら終わりということです。安全性が確保できる。

ところが、県立学校の場合は、クラウド上にデータがあるので、そこまでアタックされて何らかのことがあったら、（ウイルス・スパイウェア等のマルウェアによる）マイナスの要素で（クラウド全体が）侵食される可能性があるかもしれない。そこを調べるのに今回時間が一定かかったということです。

記者)

被害数のところで、17,226人のアカウントが削除された。この教育センターの部分はそれと全く別の新たな被害が確認されたということですか。

教育長)

はい。新たな状況が確認されたということです。それと、安全も確認されたので、そのまま研修用パソコンとして使っているということです。

記者)

教育センターも新しく被害が確認されたということですね。

教育長)

被害というか、不正侵入が確認された。被害はないです。

記者)

研修用パソコンを開いて立ち上げているときに侵入されたということですか。

教育長)

いえ、多分そうじゃないです。

今回こんな（県立学校の）事案があったので、管理用アカウントを確認していた。そうしたら、「あれ、見たことない管理用アカウントがある」ということがわかって、「これは不正に入っているのではないか」ということで確認したところ、やはり（別のアカウントを）作られていたということです。どこでもそういうことが起こり得るということですね。

記者)

その復旧ですけれども、不正に作られた新たな管理用アカウントをまず削除してしまっ
て、それでまた別の復旧用の新たな管理者アカウントを作って、それにもう1回権限を付与
していったということですね。

教育長)

そうです。基本はパスワードも変えて。

記者)

それを、今日、全員に周知していくということですか。

教育長)

それは県立学校のことですね。県立学校は、IDやパスワードは変えていないです。

記者)

県立学校の17,000件余りの復旧作業としては、新たに作られた管理者権限のアカウント
の削除をして、新たに県教委としての管理者権限アカウントを作ったということですね。

教育長)

言い方がちょっと難しい。

管理用アカウントというのが今まであり、その管理用アカウントを絞り込んで、新しい管
理用アカウント、何でもできる権限がある管理用アカウントを作り直したと。言い方として
はそうなる。

記者)

管理用アカウントを作り直したと。

教育長)

そうですね。

記者)

そこで一元管理することによって、これまでの被害に遭った部分を切り離してしまった
と。

教育長)

そうですね。

記者)

なぜ最初のパスワードが取られたかっていうのは全くわからなかった。

教育長)

取られた方法はわかりません。

記者)

旧県立体育館について、記録保存はどこかの大学とかと共同でやるということになるのでしょうか。

教育長)

そこまではまだ固まっていない。これから、具体的にどうやっていくか、いろいろな専門家のお話をお聞きする。人選も含めて考えていくようになると思います。

記者)

工法であるとか、かなり専門的な知識がないとなかなか難しいと思う。単に映像をカメラに収めるだけではなく、記録も残していかなければならないとなると、どこかの大学の建築学科の教授とかと連携してということになるんじゃないでしょうか。

教育長)

そうですね。そういう意味で専門家を、ということですね。

記者)

教育センターの件は、パソコンですか、それともタブレットですか。

教育長)

パソコンです。

記者)

これがいつ発覚したんですか。

教育長)

5月16日です。金曜日。

記者)

県の教育委員会で管理しているアカウントというのは、教育センターのものと、県立学校のもの。あと管理者アカウントというので管理しているものは他にはないんですか。

教育長)

Google があります。

一人一台端末を統一アカウントにしたので、Google アカウントも管理権限を持ったアカウントがある。今回は Microsoft アカウント。

記者)

Microsoft アカウントで管理している管理者用アカウントはこの2種類だけですね。

教育長)

その2種類だけだと思います。

記者)

Google アカウントについても調査されたんですか。

教育長)

それは状況が違うのでしていません。

記者)

それはセキュリティの状況が。

教育長)

はい。おっしゃる通りです。

記者)

よりセキュリティの強い Google の方は、今回は調査しないと。

教育長)

そうです。

記者)

不正削除の原因のところで、管理用アカウントのパスワードが盗まれたということですが、IDはどうか。

教育長)

パスワードだけ。

記者)

IDは特定の人しか知らないものではないのか。

教育長)

IDが盗まれたという言い方になるのか。

記者)

IDとパスワードがないと、操作はできないと思う。

教育長)

IDとパスワードが盗まれたということでもいいと思います。

記者)

IDとパスワードを知っていたのはどれぐらいの人数ですか。

教育長)

正確に何人というのはなかなか言いにくいですが、複数の管理用アカウントを持っていました。

記者)

管理用アカウントはひとつじゃなくて。

教育長)

複数持っていました。

記者)

今回、操作されたのはその中のひとつになるんですか。

教育長)

それはなかなか言いにくい。

記者)

セキュリティの問題ですか。

教育長)

はい。

記者)

管理用アカウントがいくつかあるうちの、全部もしくは一部が不正に操作されたということですか。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

発覚の経緯ですが、調査をする過程で時系列が判明したと。

教育長)

そうです。

記者)

すべて同じ日付ですけども、気づくのも結構早かったということですか。

教育長)

4月4日の17時40分頃、サインインができないという連絡が入ったので、何らかの現象が起こっているということでログを確認すると、4日の16時47分に攻撃用のアカウントが作られているということがわかったということです。

記者)

攻撃自体は、4日の16時47分に攻撃が始まったということですか。

教育長)

ログをいろいろ確認したが、アタックそのものは、4月4日より前に、何回か行われていた形跡があります。

記者)

アタックというのは。

教育長)

不正に入ろうとしたということです。

記者)

入ったではなく、入ろうとしたのもログでわかると。それはいつ頃からですか。

教育長)

半年ぐらい前からしかログが残ってない。180日(前まで遡れる)。

記者)

180日分のログがあって、いつ頃からはわかるのか。

教育長)

6か月前からですかね。去年の10月頃から。

記者)

遡れる範囲の2024年10月頃から。これは同一の主体から来ているかどうかはわかるんですか。

教育長)

わかりかねます。

記者)

どれぐらいの数とか頻度とか、というのはわかるんですか。

教育長)

それはわかりません。事実関係だけから言うと、2024年10月の時点でもう入られてしまっていた。

記者)

10月の何日かとかはわかるんですか。

教育長)

10月28日。

記者)

10月28日に、管理用アカウントを介して、システムの中に外部から入り込まれていると。

教育長)

管理用アカウントでサインインされていた。ログインされていたということです。

記者)

それは、業務で正式な(担当職員の)方がやっているわけではなかったと。

教育長)

はい。ログを確認したら正式(な担当職員)でないのがわかりますから。

記者)

その時点で、(不正操作が)判明するような体制にはなっていなかったということですか。

教育長)

(そのような体制に) なっていなかったということです。

記者)

丸亀市であったもの(同様の事案)は、結構早く復旧していましたが、県教育委員会については復旧までは1か月半ぐらいかかった。特に時間がかかった理由というのは。

教育長)

先ほどもお答えしましたが、クラウドの中にデータがあるかないか、その違いかなと思います。丸亀市の事案は、確かクラウドサービスは受けていなかったと聞いている。我々はクラウド上のデータまでアタックされて侵食されていたらまずいので、そこまで全部確認をする時間が必要だったということでもあります。

記者)

確認をした結果、今回は、アカウントは削除されていたけども、データファイルへのアクセス自体はなかったということですか。

教育長)

データファイルは大丈夫だった。

記者)

これまで児童生徒が積み上げた学習データや各種レポートについては、これまで通り見られるような状態ということですか。

教育長)

今まで通りのアカウントをそのまま復旧して、クラウド上に見に行けるような状態に復旧するということです。

記者)

完全に元通りということですか。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

セキュリティですけども、これまでどうだったものが今後はどういうふうになるんでしょうか。

教育長)

セキュリティについて、一番大きいのは、監視体制です。専門業者による監視体制を、今の Microsoft アカウントについては行っていなかったという現実がありますので、この監視体制については先ほど Google アカウントのときにも話しましたが、Google アカウントと同じように、専門業者による監視できる体制を新たに設けるとというのが1点。

それと、管理用アカウントを複数使用していましたが、その数をより限定していこうかなと。付与対象者を最少化するという事です。

それと、今回、海外からアクセスしたログがあると聞いていますので、海外からのアクセスの制限をする。

そういったことで、セキュリティ体制を強化していきたいと思います。

記者)

監視体制ですが、今回は、不正にサインインされたときにはその時点では発覚していなかった。それがわかるようになるんですか。

教育長)

おっしゃる通りです。(今回の事案でいうと)10月28日の段階でわかるような体制にしたい。

記者)

入られたタイミングでわかるような体制が整うと。

教育長)

そうです。おかしな動きがあるとか、そういうときにはこちらに連絡が来るような体制にしていくということです。早期に発見もできるし、こちらからのプロテクト作業もできると。

記者)

海外からのアクセスのことですが、今回の案件も海外からということでしょうか。

教育長)

海外からと聞いています。

記者)

丸亀市も似たような案件で海外からと(聞いている)。(海外からの)アクセスを制限す

るので、海外から何かが入ろうとした瞬間にそれはわかるんですね。

教育長)

そうですね。

記者)

監視体制の部分は業者に委託したということですか。Microsoft 側にとということですか。

教育長)

監視体制の方は専門業者に。

記者)

原因の調査も、これは最初から専門業者に委託しているということですよ。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

先ほど質問の中で出てきたファイルデータの部分。学習データというのは、いわゆる教材とかそういうものになるんですか。

教育長)

教材というか、例えばレポートとか。生徒が実習に行った感想とかをそこにアップしていると聞きました。

記者)

アカウントの件で、「窃取され」とか「事件」という言葉もあったんですが、警察への届出はどうなっているんですか。

教育長)

4月4日の時点で届け出たということですね。

記者)

被害届を（出したということですか）。

教育長)

被害届というよりも、口頭で（相談）ですね。

記者)

今後、事件化していくような。刑事告発とか。

教育長)

親告罪ではないので、こういう現象が起こっているとすると司法警察活動に入るんじゃないかなど。そういう整理です。

記者)

パスワードを何らかの手段によって「窃取され」ということですが、逆に、漏洩したっという可能性はないんですか。

教育長)

ないと思っています。

(可能性が)ゼロかどうかと言われるとなかなか。ただ、ログとかを見る限りにおいては、(外部からの)「窃取」だという結論付けを(した)。今回調査をお願いした専門の業者もそういう見解ですので、我々としては、何者かに窃取されたという整理であります。

記者)

あまり考えたくないですけど、内部の犯行ではないんですね。

教育長)

ないと思います。

記者)

そういう(外部からという)痕跡があると。

教育長)

そうですね。

記者)

教育センターの件が5月16日に発覚ということですけど、これはいつ、何らかのアタックをされていたんですか。

教育長)

それはわかりません。

記者)

それよりも前にされていたことが16日に初めてわかったということですね。同じタイミ

ングかもしれないし、もっと前にやられたかもしかかもしれないということですね。

4月の段階で調査はされなかった。

教育長)

していないですね。

記者)

その時点では（不正操作が）わかっていなくて。

教育長)

いわば研修用のパソコンなので、研修のときだけ来て、普段使いは基本的にあまりしないですし、基本はスタンドアローンで研修を受けていただくマシンで、普段からクラウドサービスの中で運用しているマシンでないので確認していなかったということです。

記者)

新学期が始まってからおよそ1か月半使えなかったということですけど、学校側から授業とかで不都合とか、どういうことで困ったみたいな声というのは、具体的に届いているものがありますか。

教育長)

データが使えない、早く復旧して欲しいという要望はいただいていたました。

記者)

何かそれに対して代わりにこういうことをした、とかいうことはありますか。

教育長)

代替の方策を何かお示ししてとかは、特にはしていない。

記者)

丸亀市でもありましたけど、全国的に公立学校のアカウントが狙われたみたいな事例はあるのか。

教育長)

全国的な事例はないですけど、今回、この事案を調べる過程で、いつ、こういう事案が起こってもおかしくないんだろうなど。ハッキング側も、日々、技術的にも、能力、レベルが上がってくるわけですから、対策を強化していかなければいけないなと思いました。

それと、今回は Microsoft アカウントのアカウント事案ですけども、ご案内のように香川県の場合は、Google アカウントへの県域統一ということで、GIGA スクール構想の第二期を進

めているので、そういう中でセキュリティレベルを上げて、今後は運用できるのかなと思っています。

記者)

「外部事業者と契約し」と資料にあるんですけど、もう契約はされたんですか。今後の話ですか。

教育長)

もう（契約）しています。

記者)

明日の再開の前に契約はしているのでしょうか。

教育長)

大丈夫です。

記者)

Microsoft のアカウントの件で、削除されたアカウントが復旧したのはいつだったんですか。

教育長)

復旧するのは明日からです。

記者)

それは運用再開だと思うんですけど。

教育長)

復旧と運用再開はセットです。

記者)

削除されたものが元に戻るのが明日ということですか。

教育長)

そうです。再開するということは復旧することなので、使えるようになるということです。

記者)

海外からというのはどちらから。

教育長)

どこの国かというのはお答えするのが難しい。これは捜査に関わってくると思うので、あまりオープンにできないのかなと思います。

記者)

海外からアクセスされたということは間違いないですか。

教育長)

はい。

記者)

あと先ほど専門業者と契約済みとおっしゃっていたと思うのですが、それにかかった予算はいくらでしょうか。

教育長)

現時点で750万円程度ですね。

記者)

まずはセキュリティ強化にかかっている金額がそれぐらいで、今後増える可能性もありますか。

教育長)

あります。

記者)

それはこういった部分ですか。

教育長)

今から監視していただく中で、具体的な業務内容や期間を延長するのとかも含めて、いろいろと相談しながらやる必要があるので、精査していく必要があるかなと思っています。

記者)

今年度末までという契約ですか。

教育長)

今のところ6月末までです。

記者)

それ以降の更新とかは。

教育長)

当然考えているんですけども、金額の精査はまだできていない状況です。

記者)

セキュリティ強化はそのあとも続くという見通しでよろしいですか。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

そもそも Microsoft アカウントの監視体制がなかったということでちょっと衝撃を受けただんですけど、そこについてはなぜその判断が当時なされたんですか。

教育長)

それは大変申し訳ない。セキュリティに対する認識が組織としてちょっと甘かったと言わざるを得ないのかなと思っています。事案が起ってしまっただけのことにはなるんですけども、今後はしっかりと強化したいということでもあります。

記者)

不十分だったと言わざるを得ないということでしょうか。

教育長)

はい。言わざるを得ません。

記者)

その当時はコロナ禍で、一気にスピードを上げて進めたということもあると思うんですけども、こういったことが要因として考えられますか。

教育長)

事情としてはそれが大きな事情のひとつではないかなと思います。

記者)

今後の調査はまだ続くんでしょうか。

教育長)

今回のこの Microsoft アカウントの不正削除事案についてはこれで終わって、復旧して、今後しっかりとセキュリティレベルを上げてやっていくわけです。今後は、この Microsoft アカウントが、Google アカウントの方に年次更新で変更する流れになるのかなと思っています。

記者)

改めて、先ほどの不十分だった点もあると思うんですけども、教職員、生徒保護者の皆様に対して（一言）お願いします。

教育長)

不正窃取という事案につきまして大変申し訳なく思っていますし、また復旧までにちょっと時間もかかりました。それについても大変申し訳なく思っております。改めてセキュリティ対策を強化して、より安全安心な環境で、教育活動ができるように努めていきたいと考えてございます。

記者)

旧県立体育館ですけど、先ほど入札予定時期が今年 8 月頃とおっしゃっていましたが、着工の目途はそれからということになりますか。

教育長)

そうですね。入札をして、その結果を受けて手続きを進めるようになりますから。

記者)

遅くとも令和 7 年度には。

教育長)

今、令和 7 年度から 9 年度までの予算をいただいておりますので、この間で仕上げていきたいと考えております。約 20 か月工期がかかりますから、そういうのも念頭に置きながらになりますけれども、いずれにしても入札の結果を踏まえる必要があるかなと思います。

記者)

先ほどのアカウント窃取のログの部分でちょっと気になったのが、窃取っていうと元あるものをどこから盗んできたというようなイメージですけど、例えば亡くなった人のスマホをパスワード解除するための事業者がアトランダムに打ち込んでいって、ぴたっと合ったパスワードで解除していくっていうやり方があると思う。同じようにアトランダムに打ち込まれていて、その中からぴたっと合ったところで入り込まれたっていうやり方なのか、それともどこから取られたのかだと、どちらになるでしょうか。

教育長)

どちらのやり方なのかはわかりません。

記者)

窃取という言葉にはそれも含まれるということで、アトラダムに攻撃を受けて、たまたまぴたっと合って入り込まれたか、もしくはどこかから取られたか、というのは定かではない。

教育長)

どんなやり方をしたかがよくわかりません。

記者)

教育センターの研修用パソコンで、これはあくまでもアプリを使うためのパスワードだから1台ごとに違うんですか。それとも、その1つのID・パスワードで何台かをすべて使えるんですか。

教育長)

管理用権限だから、何でもできる。

記者)

アカウントの方ですけれども、アカウントが攻撃されて16時53分に削除されて、19時5分に無効化したのは、県教委が無効化したということでしょうか。

教育長)

そうです。

記者)

削除をされたアカウントは無効化の時点で戻ってきたというか、また現れたのでしょうか。

教育長)

17時40分にサインインができませんという連絡が入りました。何らかのことが起こっています。ログを調べました。16時47分に、不正にサインインされた管理用アカウントで攻撃用の管理用アカウントが作られていることがわかりました。この攻撃用管理アカウントを無効化したんですね。

攻撃用管理アカウントによって、児童生徒のアカウントが全部消されていっていたのを無効化して、約17,000件にとどめたということです。3万いくらかあるアカウントが消され

ていていたのを、攻撃用アカウントを無効化することによって、17,000件ぐらいの削除にとどめましたというのが正確な表現ですかね。

記者)

無効化の手続きと別で、復旧作業で削除されたアカウントを戻していくという作業だったんですか。

教育長)

削除されたアカウントそのものはそのまま復旧するようになります。消されたものが元に戻ります。

記者)

4月4日の無効化以降に復旧作業をしていて、元に戻すということですか。

教育長)

そうです。

記者)

原因調査した専門事業者は、今回（監視の）契約した外部事業者と別の事業者ですか。

教育長)

同じです。

記者)

契約もすでにされているということですが、契約はいつからになるんでしょうか。

教育長)

期間は4月14日からです。

記者)

契約は復旧作業も含めての契約ということでしょうか。

教育長)

調査も含めてです。

記者)

どちらの会社ですか。

教育長)

ネクストリード社という会社です。

記者)

Microsoft の関連会社ですか。

教育長)

パートナー会社です。

記者)

6 月末まででとりあえず契約ということですが、これは今年の 6 月末までということでしょうか。

教育長)

そうです。

記者)

750 万円程度というのは、これは調査とか(の費用)が今回はかかったから短期間でも 750 万円ということになるのでしょうか。

教育長)

そうです。

記者)

今後、ひと月更新していくたびにこのくらいの額がかかるってわけではないですか。

教育長)

ないです。

記者)

Google のアカウントでは監視体制があったという話もありましたけど、Google アカウントを導入するときに Microsoft の監視体制の弱さっていうのは課題にあがらなかったんですか。

教育長)

そこまで気が回っていなかったですね。

記者)

Googleの方はそもそも監視体制のアップデートも会社でやりますよという内容で来たからそのまま受け入れたということですか。

教育長)

Googleで県域を統一化するに当たって、いわゆるゼロトラストとまではいいませんが、セキュリティ体制をしっかりと強化する必要があると。これは後々のトランスフォーメーションとかいろんな展開も考えて、そういう発想の下、Microsoftアカウントを導入した当時ではなく、今の一般的な考え方からすると、監視業務なんてもう普通でしょうということで契約しているということです。

記者)

県教委として、その時はGoogleアカウントに対しての監視業務はしないといけないって問題意識があって、契約がなされたということですか。

教育長)

はい。

記者)

Microsoftの方の監視体制は、そこでは問題にならなかった。

教育長)

そうですね。

記者)

その後Googleアカウントに統合していくから、とりあえずは置いておいていいんじゃないかということですか。

教育長)

そうではない。

Microsoftアカウントのセキュリティを高めなければいけないというところまで議論できてないということですね。入れたのは3年ぐらい前ですから、監視体制のところまで考えていなかったということですね。

記者)

特に見直しとかもされていなかったからそのまま問題がなくということですか。

教育長)

そうですね。

記者)

研修用パソコンのことですけど、こちらは全体では何台ぐらいでしょうか。

教育長)

28台です。

記者)

28台で、今回(不正に)入られたのが1台の1アカウントということですか。

教育長)

そうではなくて、28台を管理する統括的なアカウントが不正に操作されて別のアカウントが作られていたということです。

記者)

丁寧に記録していくという旧県立体育館の記録保存事業に関してなんですけど、事業の一部を掲載するというお話がありましたけど、記録した内容をどういうふうに公開するかというのは。

教育長)

最終的に何か報告書を作ったりというのは念頭にありますが、途中段階をどう公開していくかとか、そういうのはいろんな方法があると思うので、いろんな方の意見を聞きながら考えるのかなと思っています。

記者)

今のところ記録したものを公開する目途はまだ立っていないという状況ですか。

教育長)

記録保存も令和7年から9年の間で予算をいただいているので、全部終わったら当然公開していくんですけども、例えば途中段階とか、そういうのも意見があるかもしれませんので、そういうのを聞きながら、どんな公開の仕方があるか考えていくのかなと思っています。

記者)

今のところ何月からとか、そういう具体的な時期は。

教育長)

時期まではまだですが、既に現況の動画の撮影は1回しています。

記者)

まだそれは公開されてはないということですよ。

教育長)

現況の動画だけですので。

記者)

これから記録保存事業の一環として動画を撮影していくということですか。

教育長)

はい。それとか3D測量の方も、もうしばらくしたら(測量の)契約を進めようとか、そういうのは予定としてはあります。

記者)

3D測量はこれから。

教育長)

そうです。

記者)

旧県立体育館の件で、8月頃に入札予定ということですが、この入札の方法みたいなものは。

教育長)

基本的には自治体ですから、一般競争入札で行おうと考えています。

記者)

旧県立体育館でいうと、非常に難易度の高い建物ということで、耐震改修も解体実施設計も入札が何度も不調になるということもありました。今回のこの解体に関してもなかなか難易度が高いことが予想されるんですが、入札をうまく進めるにあたって何か考えられていることはありますか。

教育長)

手続き的には解体設計をしていただきましたから、それを踏まえた入札になるということです。

記者)

あまり考えたくないが、また入札不調となると、どんどんスケジュールが押してくることも想定されますが。

教育長)

そこは現時点で私からは何とも申し上げられない。

記者)

閉館以来、安全性の問題もあって、基本的には立ち入り禁止という状況ではあるんですが、解体を前に、例えば県民にはもう1回、中に入りたいみたいな声もあったりするのかなと思うんですけど、そのあたりはどうでしょうか。

教育長)

全く考えていません。解体の方針ということですけど、やっぱり安全性というのはものすごく大切で、安全性を確保できないというのは大きな要素ですから、立ち入るということは全く考えていません。

記者)

撮影とかの記録保存に関しては安全を確保しながら（やっていくということですか）。

教育長)

それはもちろん。

記者)

建物の現況の撮影ということで、塗装を剥がすみたいな話をちらっと聞いたりはしたんですけど。

教育長)

まだ具体的な方法までは報告がきていない。

記者)

記録保存の一部は動画の撮影とかは始まっていて、プロポーザルの募集はされていたんですか。その契約がこれからということですか。

教育長)

3Dは今からです。

記者)

動画はもう契約されたということですか。

教育長)

動画は昨年度、委託契約しています。

記者)

(アカウントの件で) 4月4日に攻撃がわかって、特権アカウントを無効化した。この案件が公になった後は、特に攻撃というのは起きなかったんですか。

教育長)

試しに入ろうとするものはあったらしい。

記者)

(結果) 入らなかったけども、ということですね。試すということでしょうか。公になった後というのはちょっと手控えるのかなと思うんですけど。これが同じ主体からあったかどうかというのはわからないんですか。

教育長)

わからない。

記者)

今後、復旧した後も、似たようなアタックがないとは言い切れない。

教育長)

あるんだと思います。あるからこそ監視を高めていく。(そうしておけば) 試行があった段階でもわかるわけですから。そこでまた、パスワードを盗まれるかも知れないじゃないですか。盗まれる側がパスワードを変えたり、プロテクトの方法がいろいろあるわけですから。それをやっていくということですよ。

記者)

児童生徒のIDとパスワードは元通りになったということですけど、その攻撃をしていた、削除していた側がそのアカウントとかパスワードってものを控えているみたいな可能性はないんでしょうか。

教育長)

それはない。

記者)

あくまで削除しただけ。

パスワードを何らかの手段によって盗んだということですけど、例えば、誰かが紙に書いていたりして、それを盗み見たとか、そういう意味の盗むってということはないのか。専門業者が漏洩ではないというお話をしたということは、もう外部から何らかの形で侵入をする過程で盗み出したということでしょうか。

教育長)

はい。

記者)

アカウントの件で、削除されて復旧したアカウントのパスワードは変更するのではないのでしょうか。

教育長)

今までのIDとパスワードで入って、自分のパスワードを変更する。

記者)

(運用再開する)明日以降でということですね。パスワードを変える以外に、削除されたアカウントを使っていた人が何か対応しないといけないということはないのでしょうか。

教育長)

パスワードを変えるぐらいだと思います。

記者)

アカウント削除の目的ですけれども、身代金目的でもなかったんですか。

教育長)

スパムメールとかの発信元になってやろうとかいうのは想像できるんですけど。

記者)

何者かに不正にサインインされた管理用アカウントというのは、特権アカウントのことでいいですか。

教育長)

そうです。

記者)

Google アカウントに統合していくというのは、何年とか目途が決まっているんですか。

教育長)

まだ決まっていない。

記者)

徐々に移行していくんですね。併用していくんですか。

教育長)

県立学校では Microsoft のサービスは今年度限り。

記者)

Microsoft アカウントも持っているし、新たに Google アカウントも付与すると。徐々に Microsoft は使わずに、Google を使ってくださいよ。例えば、OneDrive に保存しているファイルは、Google のドライブに移行して行ってくださいよ、というのを今年度から進めていくということですね。

教育長)

県立学校はですね。

記者)

市町は関係なく県立学校は、ということですね。

記者)

今年度限りで移行を完了するということですか。

教育長)

Microsoft のアカウントを使うものは、今年度限り。

記者)

来年度以降は Google アカウントになるということ。

教育長)

はい。なります。

記者)

支援学校を含む県立の 39 校は全部、今年度限りで Microsoft のアカウントの使用は止め

ると。

教委担当課)

ただ、Windows 端末に入るためにアカウントがいる。クラウドサービスは今年度限りです。

記者)

特権アカウントを別のアカウントで無効化するというのは、それ(特権アカウント)よりも強い権限を持っているから無効化できるんですか。

教育長)

特権アカウントが複数ありますから。オールマイティーが複数あるということですね。ですから無効化できる。

記者)

無効化というのは具体的に何をもって無効化というのか。

教育長)

特権を持ったアカウントが使えなくなるということです。

記者)

悪い管理アカウントが、良い管理アカウントを消すこともできるんじゃないですか。

教育長)

できるので、今回、慌てた。17,000 件全部やってしまった後、他の管理アカウントも全部消されていた可能性もあって、そこ(無効化)が、19 時5分にできたのでマルだったんですけど、21 時ぐらいになっていたらわからなかった。

記者)

そうなるともう手が出せなかった可能性もあるんですね。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

その 17,000 件の削除が進行中だったみたいな感じですか。全部やろうとしていた。

教育長)

おっしゃる通りです。

記者)

スパムメールの発信元になろうとしたかもしれないというお話だったと思うんですけど、それはその目的として(スパムメールの発信が)あったかどうかというのわかるんですか。

教育長)

ログがあったらしいです。ログの記録を見ると、不正に入ったアカウントからスパムメールが送信された記録が残っていたということです。

記者)

不特定多数ということですか。これが唯一かわからないですけど、ひとつの目的だったということですかね。

教育長)

可能性は高いかもしれない。

記者)

足がつかないように、別のアカウントを経由した先で、スパムメールを撒くみたいなことに使われたことはわかっているということですね。

教育長)

そうですね。送信のログがあったということです。

記者)

これはいつ頃のお話ですか。攻撃してから、止まるまでは結構時間が短かったと思いますが。

教育長)

時間まではわかりませんね。

記者)

10月28日に管理者権限で1回入っているんで、(アカウントの)削除はしなくても、スパム元になろうとしたら、少なくとも10月以降はいつでも送れる状況にあったということですよ。

教育長)

そうですね。

記者)

(スパムメールを) 送り終わった後に消していつている可能性もある。

教育長)

4月4日以降じゃなくて、10月28日以降で、スパムメールを送信したログが確認できているということです。

記者)

少なくとも半年前から侵入されたということがあって、侵入された後にスパムメールがアカウントを経由して撒かれていたということもログでわかったと。

どれぐらいのメールが、どこら辺に(撒かれた)みたいなことはわかるんですか。

教育長)

宛先とかはわからないが、メールが94件(送られていた)。

記者)

メールが94件、どこかしらに、このアカウントから送られていたということですね。これは今回、作業に当たられていたネクストリード社の方はどう見ているんでしょうか。スパムメールはもっと多いのかなと思ったが。

教委担当課)

スパムメール等の不正送信の疑いがあるということ。

記者)

全部がスパムメールかどうかわからない、ちゃんとした用件のメールもひょっとしたらあったかも、ということですか。

教育長)

あったかも知れないが、そういう不正操作が疑われる送信が94件あったということです。

記者)

不正なメール送信が94件確認されたと。

セキュリティを強化するというお話ですけど、今回は攻撃された段階でどういうことがあれば発覚するようなものだったんですか。アカウント削除がされても、発覚しない状況だったんですか。

教育長)

発覚しない。たまたま、サインインできないということであった。

記者)

そこは、何かソフトを入れるとかってというような防ぎ方では無理だったんですか。

教育長)

それは無理だと思います。今、そういうレベルではないんだと思います。それも大事なことですけど。

記者)

いわゆる、体制を組んで、システムを組んでというふうにしないといけない。

教育長)

今のセキュリティ監視というのは、そういうことだと思っています。

記者)

Microsoftの関連会社だから、アカウントそのものを監視するような感じになるんですよ。正常なアクセスと不正なアクセスでは全然違うし、アトランダムにやってくるから、そのアトランダムな部分ではじいていくような形になる。

教育長)

こんなところから入ってきているじゃないとか、いろいろなことがわかるわけです。今までだと、それすらわからなかったということです。

記者)

サインインした後にどういう必要があって（アカウントを）削除したんでしょうか。

教育長)

それもちょっとよくわかりません。

記者)

攻撃用アカウントによって別の特権アカウントが消されるということはあったんですか。

教育長)

特権アカウントが複数あるうち、何個かは消されていたらしいです。

記者)

攻撃用の特権アカウントによって、複数の別の特権アカウントが消されていた。

教育長)

はい。

記者)

乗っ取りですかね。

教育長)

乗っ取りというか、動きだけ見るとスパム(メールの発信元)ではないか。もしくは、自分の技術力を誇示するというか、そういうのがあるのかもしれないですけど。

記者)

誰かのを個別で見たとかいうレベルじゃなくて、不特定多数のアカウントをアトランダムに入れて行って、パチッとハマって入った可能性がありますね。AIでも簡単にログインできますから。

教育長)

AIはもう結構なデータを食べさせてもらっていますから、入れるネタがたくさんあるんだろうと思う。こんなのが来ているから気をつけなさいよという警告がいつも来るような環境ではなかったわけですから、そこが弱かったかなと思います。動機についてはよくわかりません。

いずれにしても、明日から復旧して今までどおり使えるようになるということです。

記者)

アカウントは使えないけども、タブレットは使えているんですか。

教育長)

タブレットは使えていないです。

記者)

Googleアカウントの方を使うとかは。

教育長)

それもないですね。

記者)

タブレット端末自体の使用を、今は止めているということですね。

教育長)

Chromebook とか iPad とか他の端末がありますよね。それは使えています。

記者)

それを持っている生徒は使えるということですね。

教育次長)

Windows を入れている学校が使えていないということです。1年生は使おうと思えば使えます。

教育長)

(端末が) Chromebook と iPad なので。

記者)

1年生は使えているんですね。2～3年生が使えない。

教育長)

2～3年生の中でWindows 端末を入れているところが使えない。

記者)

アカウントを消されていない生徒も使っていないんですよね。

教育長)

おっしゃる通りです。Windows 端末のところは使っていないです。

司会)

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、教育長定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。